

施策マネジメントシート(平成26年度の振り返り、総括)

作成日 平成 27 年 6 月 22 日

基本目標	II	豊かな自然と共生するまち	主管課	名称	総務課
				課長	増田 伸之
施策	20	自然環境の保全	関係課	観光課(自然観光)、まちづくり交流課(エコパーク推進)、地域整備(管理)	

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名	対象	意図	
				1	保全活動の推進(まもる力)	町民 町内の自然環境	保全活動を積極的に行う。 まもられる。
①町民 ②町内の自然環境		①自然環境に対する意識を高め、保全に向けた取り組みを積極的に行う。 ②保全され、後世に引き継がれる。	基本事業	2	自然資源の活用(いかす力)	町民 町内の自然環境	自然資源を活用する。 いかされる。
				3	環境教育の推進(ひろめる力)	町民 町内の自然環境	自然の豊かさや大切さを実感する。 ひろめられる。
				4			
				5			

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	自然環境の保全へ向けて、何らかの取り組みを行っている町民の割合	%	実績値	79.4	74.9	72.5	70.8		
目標値					80.0	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0
B	町内の自然環境が守られていると感じる町民の割合	%	実績値	73.9	59.7	64.0	61.9			
			目標値		75.0	77.0	79.0	81.0	83.0	85.0
C	省エネルギー設備が設置されている住宅数	件	実績値	62	135	213	272			
			目標値		101	150	200	250	300	350
D	昆虫等の採取が制限されている地域数	地域	実績値	4	4	5	5			
			目標値		4	4	5	5	6	6
E	エコツアーへの参加者数	人	実績値	1,074	6,133	4,653	4,632			
			目標値		5,000	5,200	5,400	5,600	5,800	6,000
F			実績値							
			目標値							

**実績値の把握方法**

A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されているいえるため成果指標とした。  
町民アンケートにより把握  
※あなたは日頃、自然環境の保全に向けた取り組みを行っていますか。→「特に行っていない」と回答しなかった人の割合

B) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されているいえるため成果指標とした。  
町民アンケートにより把握  
※町内の自然環境が守られていると思いますか。→「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

C) 件数が増加すれば、自然資源を活用していると考えられるため成果指標とした。  
※住宅用省エネルギー設備設置補助金交付件数(太陽光発電及び高効率給湯器)

D) 件数が増加すれば、自然の保全活動が推進されると考え成果指標とした。

E) 数値が増加すれば、環境教育の推進に結びつくと考え成果指標とした。

**目標値設定の考え方**

A) 東日本大震災の影響により節電意識などが高まり、現状でも高い水準にあると考えられるが、成り行きとしては若干ではあるが徐々に増えていくものと考え、平成24年度80%と設定。目標としては平成29年度に85%をめざす。

B) 自然環境の保全や共生へ向けた取り組み状況と相関関係が強く、成り行きでは同様に割合が上昇していくものとする。平成29年度には、平成23年度実績の20～30歳代の水準である85%をめざす。

C) 平成23～24年度は東日本大震災や電力の固定価格買取制度の施行により太陽光発電の補助件数が一時的に増加しているため、成り行きでは各年度の補助件数は減少すると考えられるので、現状(毎年度50件)を維持することを目標とする。

D) 平成23年度に制度が出来4箇所の指定を行っており、今後地域活動を推進していく中で、2年に一箇所程度指定を行えることを目指す。

E) エコリズム推進全体構想が平成24年6月に認定され、既存のツアーも含め本年より関連エコツアーが認定された。今後認定ツアーを増やしていく、平成29年度には6,000人の参加者数となることを目指す。

施策のための目的・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①子どもから高齢者まで、自然を守り、自然にふれあう活動に参加する。 ②家庭や事業所において、省エネルギーやエコ活動に取り組む。	①学校教育及び社会教育における環境教育を積極的に推進する。 ②環境に優しい新エネルギーの導入を推進する。 ③町民だけでなく、町外の人とも協力し、自然との共生や環境保全を推進する。 ④ユネスコエコパークへの登録申請とその後の事業推進を行う。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	①固定価格買取制度が平成24年7月に開始。企業の再生可能エネルギー事業などへの参入が進む見込み。ただし、平成26年4月東京電力(株)の系統連携問題により50kw以上の売電に対し接続制限がかかる。 ②農業用水の小水力発電への利用が緩和された。(平成25年2月河川法改正) ③地方公共団体が発電による売電事業を行う場合、総務省から平成24年12月公営企業により実施する旨の通知が出され、売電する場合には公営事業会計にする必要が生じた。 ④京都議定書に代わり、日本は「気候変動枠組条約」に基づいて開催される国際会議COP21(2015)で新目標を掲げる予定。(30年までに13年比26%削減) ⑤平成26年度からぐんま緑の県民税の課税が開始。水源等の森林整備事業等に活用される。 ⑥上信越高原国立公園谷川地区の公園計画の見直しが行われた。また、本町に谷川保護官事務所の新設が決まった。(H27.4.26開設)	①谷川岳一ノ倉沢交通規制について、乗り入れを認めてほしいとの声がいまだにある。 ②町内に新エネルギーの学習や取り組みを実践する任意の協議会(みなかみ地域エネルギー推進協議会)が設立された。(平成25年9月) ③森林資源を積極的に活用し産業を振興するべきである。 ④豊かな自然環境は町民にとってもかけがえのない財産なので、観光振興を図るうえで調整が必要。 ⑤まちづくりビジョン策定委員会により、ユネスコエコパークの理念を核としたまちづくりが提唱された。

施策	20	自然環境の保全	主管課	名称	総務課
				課長	増田 伸之

実績比較		背景・要因	
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①自然環境の保全へ向けて何らかの取り組みを行っている町民の割合は平成26年度に70.8%と前年と比較して1.7ポイント低下した。具体的には、「節電や節水を心掛ける」65.5%、「自家用車の利用を控えたり、エコドライブを心掛ける」16.2%、「環境に配慮した商品を選んで購入する」15.6%と続く。震災後の節電意識が緩和したことが要因と思われる。 ②自然環境が守られていると感じている町民の割合は、平成25年度64.0%、平成26年度61.9%と2.1ポイント低下している。 ③省エネルギー設備が設置されている住宅数は平成24年度末135件、平成25年度末213件、平成26年度末272件となっている。各年度の設置数は平成24年度73件、平成25年度78件、平成26年度59件で、消費増税による駆け込み需要が平成25年度あったものの、減少傾向に転じている。 ④昆虫等の採取が制限されている地域数は前年度と同じ指定地域数であった。 ⑤エコツアーの参加者数は、平成24年6月にエコツーリズム推進全体構想が認定されTVやマスコミの報道もあったことから、平成23年度1,074人から平成24年度6,133人であった。平成25年度は紅葉シーズン中に台風が重なった事から4,653人であった。平成26年度は4,632人と昨年並みであった。谷川岳登山者数はピーク時に迫る62,176人(昨年より3,237人増)と増加している。 ⑥ユネスコエコパークは、登録へ向けての申請事務で手一杯となつてしまい、住民への広報等ができなかったため、アンケートが低い数値になってしまった。
	② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①みなかみ町は山林原野面積が83.5%、面積も県内1位、かつ国立公園面積も広く、守るべき自然環境は多い。 ②環境力宣言をした本町の自然環境への取り組みは、近隣市町村と比べ積極的に取り組んでいるといえる。 具体的には、 ・公共施設において、電気自動車の急速充電器を道の駅など4カ所に設置。近隣市町村では沼田市、川場村、片品村に各1基設置されている。(平成26年度の電気使用量は11,536kwhで、設置当初の平成24年度5,107kwhの2倍となっている。) ・宿泊施設電気自動車充電器具設置補助を実施(みなかみ町のみ、26施設設置。) ・谷川岳一ノ倉沢交通規制を実施している。他に県内で交通規制を実施しているのは、片品村(尾瀬)のみ。電気バス2台を購入し、運行している。 ・エコツーリズム推進全体構想が平成24年6月29日に認定された。(全国3番目、国立公園としては初めて認定された。) ・赤谷プロジェクト活動支援事業(生物多様性の復元と持続的な地域づくりを進める取り組みは全国で2カ所のみ) ・高効率給湯器補助事業を実施(県内は前橋市と太田市のみ) ・群馬県住宅用太陽光発電補助金は平成26年から既築物件のみ補助対象としている。 ・国内のユネスコエコパーク登録地は現在7ヶ所のみであり、高い水準の取り組みであると言える。
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①自然環境の保全へ向けて何らかの取り組みを行っている町民の割合は、目標値82%に対し70.8%であった。震災後、数値目標の伴わない節電などで意識が低くなったことが要因と思われる。 ②町内の自然環境が守られていると感じている町民の割合は、目標値79%に対し61.9%となり、目標値を大きく下回った。 ③省エネルギー設備が設置されている住宅数は、震災後に電気を使うエコキュート等の営業自粛により設置が停滞していたが、節電の緩和で設置が伸び平成26年度末165件の設置により、目標値を大きく上回った。街路灯LED化改修も9地区実施した。 ④昆虫等の採取が制限されている地域数は、目標値と同数の5地区となった。 ⑤エコツアーの参加者数は、4,632人と目標の5,400人を少し下回った。
成果実績に対するの総括	①ホテル祭りの時、矢瀬親水公園内に完成した小水力発電施設(15kw)を公開し、小学生等を中心に説明を行った。発電量の表示板を水車小屋に設置した。 ②たくみの里で行われたイベント(5・10月)に共催し、EV車のPRを行った。一ノ倉沢電気バスでGWやイベントで体験乗車を実施した。 ③谷川岳一ノ倉沢の交通規制日数を171日間に増やし歩行者が41,427人と前年比119.8%増加した。また、10人乗りのEVバス2台を福祉車両として運行し3,834人が利用した。 ④山の日のイベントにおいて、電気バスの愛称名を石原前環境大臣に決めてもらい表彰を行った。(一ちゃん、倉ちゃん) ⑤全国的にも珍しい昆虫保護条例(平成23年4月から施行)について、1地区(上牧)増やす取り組みを行った。 ⑥太陽光発電パネル設置補助を117件、エコキュート等設置補助165件、太陽熱温水器設置補助21件を実施した。街路灯改修補助を9地区行った。 ⑦谷川岳エコツーリズム推進協議会では、環境省の交付金を活用し、地域との連携、多面的PR活動等を実施した。 ⑧赤谷プロジェクト活動支援事業では、地域協議会と協力して「三国山お花畑ハイキング」を開催した。(参加者34人) ⑨環境教育の取り組みとして、前年の取り組みに加え町内全小中学校(299人)の谷川岳登山、一ノ倉沢散策と事前学習会を実施した。(参加者389人) ⑩ユネスコエコパーク登録検討委員会を設置して、登録に向けた具体的な検討を進めている。 ⑪山岳トイレについて候補地の土壌調査や環境省山岳トイレ処理セミナー及び先進地屋久島の山岳トイレの現地調査を実施した。		

基本事業名	今後の課題	平成28年度の取り組み方針(案)
1 保全活動の推進(まもる力)	谷川岳の保全活動は、エコツーリズム推進協議会を主体として行っているが、組織の強化及び人材の育成が必要である。 一ノ倉沢交通規制では電気バスをどの様に活用するか、また山岳資料館の運営面などが具体的な課題。 平成20年9月みなかみ・水・環境力」宣言をさらに発展させるため、ユネスコエコパークの認定に取り組むのを契機として、具体的な施策や事業を示す推進プランを作成することが必要である。	保全活動の取り組みのひとつとして、エコツアーに従事するガイド数を増やすこと及びそのスキルアップを図る。また、環境保全に取り組む団体等を助成する制度を制定する。 一ノ倉沢代替電気バスの運行方法を確立する。 ユネスコエコパーク認定に向けた取り組みとともに新たな環境力推進プランを策定し実行する。
2 自然資源の活用(いかす力)	省エネルギー対策や自然エネルギーの活用などに町民、事業所、行政が協働して取り組んでいく必要がある。 自然を活かして産業を活性化するために町民、事業所及び行政が協働して取り組む必要がある。	再生可能エネルギーの地産地消を推進する。推進にあたり町内でエネルギー問題に取り組む団体等と連携を図りながら地域資源が循環する仕組みづくりに取り組む。公共施設に電気の代替エネルギーとしてバイオマスボイラーの導入を図る。 地域の自然環境の保護・保全を図りつつ、それら自然環境や天然資源を持続可能な形で利活用することで、地域の社会及び経済の発展を図ることを目的に、平成29年度ユネスコエコパークの認定を受けることを目指す。
3 環境教育の推進(ひろめる力)	趣味やレクリエーションの多様化により、学校行事や個人で自然散策や野外で遊ぶ機会が減ってきているため、自然環境を再認識してもらい、環境への意識を高める必要がある。	町内の小学生とその家族を対象とした環境学習を町内小中学校と連携して行う。また、谷川岳登山及び一ノ倉沢散策並びにホテル教室を継続して開催する。そのため赤谷プロジェクト・エコツーリズム協議会・ホテルを守る会・谷川ピコ水力発電所などの関係者と協議し環境学習のテーマや目的の調整を図る。 自然の必要性などを知ってもらうための情報発信を行っている。

20 自然環境の保全

20-01-000001 <b>庁内エコ活動推進事業</b>				担当組織 総務課 環境政策グループ				事業費		164,160円				
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費		目 11環境政策費								
事業概要	手段と実績	①温室効果ガス集計システムの継続契約②数量調査、報告書・計画書等の作成③温暖化対策・省エネ対策等の実施推進活動			対象	温室効果ガス排出量エネルギー使用量			意図	温室効果ガス排出量・エネルギー使用量の削減				
		エコ活動推進委員会の開催	平成25年度	平成26年度		単位	CO2換算温室効果ガス排出量	平成25年度		平成26年度	単位	CO2換算温室効果ガス排出量	平成25年度	平成26年度
		0	0	回			8,859	8,221	co2/t			8,859	8,221	co2/t
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括		データの収集に関しては集計システムの導入により容易になったが、担当者の変更等からデータ収集管理が不十分となる事例があり、確認に時間を費やした。職員の削減影響もあり、庁内エコ活動の推進(会合等)が進められなかった。			今後の改革改善案		活動の推進体制等を確立して、各所属・各施設ごとの取組みを具体化する。			課題とその解決策		関係各課との意志疎通や調整会合を行い、具体的な事業計画や役割分担を徹底することで効率的な事業の推進が行える。	

20-01-000002 <b>環境力推進プラン進捗管理事業</b>				担当組織 総務課 環境政策グループ				事業費		44,230円				
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費		目 11環境政策費								
事業概要	手段と実績	①調査・企画立案②関連事業等への参加・連携			対象	環境力推進プラン			意図	環境力推進プランを基にした有効な施策の執行				
		関連事業の調査検討等	平成25年度	平成26年度		単位	具体化のための施策数	平成25年度		平成26年度	単位	取り組みが進んでいる事業数	平成25年度	平成26年度
		5	5	件			9	9	件			16	16	件
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括		プランを策定したが、今後、事業担当課との詳細な計画の調整や設定、意識の改革、普及が必要である。			今後の改革改善案		環境力宣言をうけて町の取り組むべき基本方針を示し、各課共通認識のもと事業の企画・立案・実施を行う。			課題とその解決策		・関係各課との綿密な調整を行い、より具体的な事業計画と役割分担等を策定することで、効率的な事業推進が行える。・環境力宣言の主旨を事業関係各課に理解を深めてもらい、縦割りにならない事業の推進を行う。・現時点では事業関係課においてそれぞれの担当がある中で、新たな事業展開を行うのが難しい。・結果がすぐに現れない。	

20-01-000003 <b>環境審議会運営事業</b>				担当組織 総務課 環境政策グループ				事業費		0円				
予算科目 会計 一般会計 款 4衛生費				項 1保健衛生費		目 5環境衛生費								
事業概要	手段と実績	環境審議会の開催(案件が発生した時、不定期に開催)			対象	環境の保全等に関する基本的な事項の案件			意図	案件を調査審議する。				
		環境審議会の開催	平成25年度	平成26年度		単位	案件の諮問数	平成25年度		平成26年度	単位	調査審議数	平成25年度	平成26年度
		0	0	回			0	0	件			0	0	件
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括		条例で位置付けられた、環境の保全等に関する基本的な事項を調査審議するために設置するものであるため。			今後の改革改善案		特になし			課題とその解決策		特になし	

20 自然環境の保全

20-01-000004 <b>環境基本計画策定事業</b>				担当組織 総務課 環境政策グループ				事業費 0円				
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費 目 11環境政策費								
事業概要	手段と実績	温対法の改正により温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定を求められているため、それとリンクした基本計画とするための情報収集を行った。			対象	町の自然環境・生活環境・地球環境及びそれらに関わる環境教育、全町民、事業所			意図	環境の適切な保全及び利用		
	策定検討会の開催	平成25年度	平成26年度	単位		計画策定	平成25年度	平成26年度		単位	概要版の広報、回覧	平成25年度
<p>〇 目的妥当性 × 有効性 ○ 効率性 ○ 公平性</p> <p> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化  <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化  <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携         </p>												
評価結果と今後の方向性	全体総括	計画策定業務を直営でできるか、業者委託とするか、判断の必要なところですが、事業費節減のため直営にて実施することとなったが、環境政策は社会情勢により刻々と変化しており、情報の収集や、法令の解釈など事務量が膨大となっており、計画どおりに業務を遂行することが難しい。			今後の改革改善案	直営にて実施する場合事務量が膨大になってしまう。			課題とその解決策	直営にて実施する場合の事務分担やスケジュール等を具体化する。		

20-01-000005 <b>谷川岳一ノ倉沢交通規制事業</b>				担当組織 観光課 自然観光グループ				事業費 10,329,843円				
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費 目 11環境政策費								
事業概要	手段と実績	交通弱者輸送交通量調査代替バス(乗合タクシー)の運行散策案内			対象	一ノ倉道路を利用する観光客			意図	車で簡単に訪れられる一ノ倉沢のイメージから歩いての散策が魅力のある一ノ倉沢道路のイメージを定着させて、より滞在時間のながい観光スポットとして定着させる。		
	アンケート調査回答者数	平成25年度	平成26年度	単位		道路利用者数	平成25年度	平成26年度		単位	歩く人の割合	平成25年度
<p>〇 目的妥当性 × 有効性 ○ 効率性 ○ 公平性</p> <p> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化  <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化  <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携         </p>												
評価結果と今後の方向性	全体総括	単に自然環境保全や渋滞緩和を中心とした通行規制であれば、交通整理員を配置することとめればよいが、本事業は、一ノ倉沢道路を環境学習や自然と親しむフィールドとしてとらえ、環境と観光という二面性を持った持続可能な施策をおこなう事業である。持続可能に一番必要なことは経済性であり、そのためには来訪者を増やすだけでなく、電気バスを利用したガイド料金等の収入を見込むことである。これは、数年先を見据え目標を持った息の長い施策を必要とする。			今後の改革改善案	平成26年度は電気バスを導入したことにより事業費がかかり、経済性評価において後退している。この点をふまえ、電気バスによるガイド制度を導入しエコツーリズムの資金とすることでエコツーリズムへの補助金を減らし、一般財源の減額に努めることが必要。			課題とその解決策	谷川岳エコツーリズム推進協議会の安定した運営だけでなく、電気バスに係わる道路運送法への抵触をさげながらどのようにガイド料金を徴収していくかが課題である。		

20-01-000006 <b>自然公園保護事業</b>				担当組織 観光課 自然観光グループ				事業費 0円				
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費 目 11環境政策費								
事業概要	手段と実績	①申請書類の受付②申請書類の進達・提出③申請書類の保管			対象	申請者(個人・法人・団体・業者など)			意図	開発行為等の申請書類を提出できる。		
	受付・進達・提出件数	平成25年度	平成26年度	単位		申請件数	平成25年度	平成26年度		単位	申請件数	平成25年度
<p>〇 目的妥当性 ○ 有効性 ○ 効率性 ○ 公平性</p> <p> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化  <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化  <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携         </p>												
評価結果と今後の方向性	全体総括	国(環境省)の経由事務。※平成25年度より、観光課自然環境Gに環境課から担当課が変更となった。			今後の改革改善案	国(環境省)の経由事務。			課題とその解決策	なし		

20 自然環境の保全

20-01-000007 <b>生物多様性保全活動推進事業</b>				担当組織 観光課 自然観光グループ				事業費		180,000円				
予算科目				会計 一般会計		款 2総務費		項		1総務管理費	目	11環境政策費		
事業概要	手段と実績	①生物多様性に係る啓発活動②昆虫等保護条例に基づく地域及び管理者の指定③上記条例に基づく補助金交付事務④地域戦略策定の検討及び情報収集⑤日本自然保護協会への加入⑥生物多様性自治体ネットワークの活動			対象	町の自然環境と生物多様性			意図	町の自然環境と生物多様性が保全される				
		昆虫等保護条例による地域及び管理者の指定数	平成25年度	平成26年度		単位	自然との共生や自然環境の保全に向けて、何らかの取り組みを行っている町民の割合	平成25年度		平成26年度	単位	自然との共生や自然環境の保全に向けて、何らかの取り組みを行っている町民の割合	平成25年度	平成26年度
		4	5	箇所			64	62	%			64	62	%
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括		生物多様性・自然環境の保全事業は開始して間もないため、今後さらに推進していく必要がある。			今後の改革改善案		取り組みを具体化するため、エコパーク構想と連携をとりながら、生物多様性地域戦略の策定に向けた検討を行っていくとともに、昆虫等保護条例に指定された地域や管理者の活動の支援を行い、指定地域や管理者の増加を図る。			課題とその解決策		エコパーク認定に向けた、本格的な組織・取り組みの構築。	

20-01-000008 <b>環境対応車推進事業</b>				担当組織 観光課 自然観光グループ				事業費		675,902円				
予算科目				会計 一般会計		款 2総務費		項		1総務管理費	目	11環境政策費		
事業概要	手段と実績	急速充電器の設置充電箇所の公開			対象	電気自動車			意図	電気自動車のユーザーが多く訪れる。				
		町内にある急速充電器	平成25年度	平成26年度		単位	日産リーフ販売累計	平成25年度		平成26年度	単位	急速充電器利用台数(累計)	平成25年度	平成26年度
		4	5	台					台	602	1,865	台		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括		急速充電器の設置により電気自動車で訪れる人が増える。充電ができる宿泊施設を増やす一方で、観光施設への設置を検討する必要がある。			今後の改革改善案		宿泊事業者に事業の主旨を理解していただき、一刻も早く充電インフラを整備し、広く町外へアピールする。			課題とその解決策		各宿泊事業者への説明手段がなく、広く理解されていない。周辺郡部での充電設備が設置件数が増えてきており、早くから取り組んでいる当町の知名度が増してきている。その事をどのように町内に周知していくかが課題	

20-01-000009 <b>赤谷プロジェクト活動支援事業</b>				担当組織 観光課 自然観光グループ				事業費		円				
予算科目				会計		款		項		目				
事業概要	手段と実績	①企画調整会議・企画運営会議・自然環境モニタリング会議への参加②地域づくりWGへの参加③地域協議会の活動への参加・サポート④広報・周知活動⑤役場内関係各課との連絡調整			対象	赤谷プロジェクト及び赤谷の森を中心とした地域の森林生態系やそこに根ざした地域社会。			意図	生物多様性を保全・復元させ、現在ある自然を損なわない地域とする。				
		会議等への参加	平成25年度	平成26年度		単位	対象地域の面積	平成25年度		平成26年度	単位	赤谷プロジェクト事業への参加回数	平成25年度	平成26年度
		5	3	回			10,000	10,000	ha	20	11	回		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括		今後はより一層連携を強化し、協働していくことで町の自然環境の保全につながる。			今後の改革改善案		赤谷プロジェクトの事業に本格的に参画し始め、3年目が終了しようとしている。このプロジェクト自体がさまざまな専門分野のもと構成されており(7つのWG)、その活動や目標が、もはや環境だけでなく、農政・観光・町づくりなど幅広くなっている。今後もこのプロジェクトに参画し、ともにエコパーク等の本格的な認定を目指していくのであれば、町側もそれ相応の組織体制(各WGの主たる窓口課の設定、会議の議題に応じた担当課の出席等)を整えていく必要がある。			課題とその解決策		オブザーバーという立場で参加している現在、町と赤谷プロジェクトとの関わり方が明確になっていない。まず、町がどういった方向を目指しているのか、そのために赤谷プロジェクトをどう利用していくのかを決める必要がある。今はそのための、ただただ協力・サポートをしているという状態である。	

20 自然環境の保全

20-01-000010 <b>ホテル保護事業</b>		担当組織	観光課 自然観光グループ			事業費	2,577,125円			
		予算科目	会計	一般会計	款	4衛生費	項	1保健衛生費	目	5環境衛生費
事業概要	手段と実績	ホテル関係施設(カフナ養殖施設、ホテルの里、矢瀬公園ホテル水路等)の管理、町内小学生を対象としたホテル教室、ホテル観賞会、ホテルを守る会の運営に係る事務局、猿ヶ京ホテルの会協力、ホテル関係視察対応、藤原地区のホテル発生状況調査、その他ホテルの保護・調査等の取組。26年度は、観賞コース歩道・法面の修繕と上毛高原駅前のホテル看板の改修を行った。			対象	町民、来町者、水棲生物			意図 ホテルをはじめとする水棲生物の保護地整備と、それを活用した環境教育、観光資源としての利活用などを行い、地域とその協働による利根川源流にふさわしい自然との共生と環境保全を図ります。	
		平成25年度 平成26年度 単位 ホテル観賞者数 19,300 15,131 人	平成25年度 平成26年度 単位 ホテル観賞者数 19,300 15,131 人			平成25年度 平成26年度 単位 ホテル観賞者数の内、旅館宿泊者数 6,580 5,943 人				
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	全体総括 観賞者は、旅館・ホテルからの宿泊客が30～40%を締めている。毎年訪れてくれる人(リピータ)が多くなってきている。又、町民アンケート調査から自然を守るための取組に興味があるかに、%あるとしている。今年は、観光課に所管替によりPRもできHISツアーで780人と昨年倍の観賞者がありインパウンドのお客様が含まれるようになったが、全般的にホテル祭り当日が雨のため観賞者数は昨年を下回った。		今後の改革改善案 保護の面では、守る会や関係団体(地域)と協力し、環境整備に取り組んでいく。観光資源としての面では、地域の活性化につながるよう関係団体と協力していく。	課題とその解決策 ホテルの情報(生態も含め)を発信し、保護するもの、観光とするものがマナーを守り共存していくことが必要である。	コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下				

20-01-000011 <b>藤原里山保全事業</b>		担当組織	観光課 環境政策グループ			事業費	699,230円			
		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費
事業概要	手段と実績	・森林塾青水主催のイベントへの協力。・総会・会議・打合せ等への参加。			対象	・森林塾青水会員・首都圏住民・地元住民・藤原里山			意図 森林塾青水が行っている活動を通して、首都圏住民とともに、茅場の保全・古道整備などを通して、自然・文化・風景にふれあう機会を提供する。	
		平成25年度 平成26年度 単位 青水イベント数 15 18 回	平成25年度 平成26年度 単位 青水イベント参加者数 1,391 1,404 人		平成25年度 平成26年度 単位 青水イベント参加者数 1,391 1,404 人					
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 意図の見直し 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	全体総括 依然として地元藤原地域の受け入れ体制がまだまだ不十分であり、ここ最近、藤原地域の若手の協力体制が出来つつある中で、今後の活動に期待したい。		今後の改革改善案 環境保全活動をしつつ、観光振興に繋がるようにしていきたい。	課題とその解決策	コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下				

20-01-000013 <b>電気自動車等充電設備設置費補助金交付事業</b>		担当組織	観光課 自然観光グループ			事業費	0円			
		予算科目	会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	11環境政策費
事業概要	手段と実績	普通充電設備設置補助			対象	電気自動車			意図 電気自動車のユーザーが多く訪れる。	
		平成25年度 平成26年度 単位 普通充電器を設置した宿泊事業者 0 0 件	平成25年度 平成26年度 単位 電気自動車販売台数		平成25年度 平成26年度 単位 普通充電器を設置した宿泊事業者 0 0 件					
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	全体総括 急速充電器の設置により電気自動車で訪れる人が増える。充電ができる宿泊施設を増やす一方で、観光施設への設置を検討する必要がある。		今後の改革改善案 宿泊業者に事業の主旨を理解していただき、一刻も早く充電インフラを整備し、広く町外へアピールする。	課題とその解決策 各宿泊事業者への説明手段がなく、広く理解されていない。周辺郡部での充電設備が設置件数が増えてきており、早くから取り組んでいる当町の知名度が増してきている。その事をどのように町内に周知していくかが課題	コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下				

20 自然環境の保全

20-02-000001 <b>谷川岳エコツーリズム推進事業</b>				担当組織 観光課 自然観光グループ				事業費 <b>8,630,000円</b>			
予算科目 会計 一般会計 款 7商工費				項 2観光費				目 1観光総務費			
事業概要	手段と実績 谷川岳エコツーアーの実施谷川岳の自然環境モニタリング調査谷川岳エコツーアーガイドの育成	対象			谷川岳の自然谷川岳への来訪者谷川岳のエコツーアーガイド			意図 保全されている。安全に谷川岳の自然とふれあう。安全に谷川岳を深く楽しんでもらえるようにガイドをする。			
		谷川岳エコツーアー参加者数	平成25年度 4,573	平成26年度 5,500	単位 人	登山者数	平成25年度 59,000	平成26年度 62,000	単位 人	自然保護に関する苦情の数	平成25年度 0
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			今後の改革改善案 より地域に根ざした活動となるよう丁寧な呼びかけを行いながら、全体構想の具現化を図る。			課題とその解決策 関係者の合意形成等。				
	全体総括	地域への浸透に改善の余地があり、まだ過渡期であるといえる。						コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下			

20-02-000002 <b>小水力発電施設設置事業</b>				担当組織 総務課 環境政策グループ				事業費 <b>2,059,528円</b>			
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費				目 11環境政策費			
事業概要	手段と実績 ・矢瀬親水公園小水力発電施設の運転・同上施設に係る水利の調整・同上施設に係る付帯工事の実施 調査検討・基本設計等業務	対象			町が関与する小水力発電所			意図 稼働再生可能エネルギーの地産地消			
		調査検討・基本設計等業務	平成25年度 0	平成26年度 2	単位 回	町が関与した発電所の数	平成25年度 2	平成26年度 2	単位 基	町が関与した稼働発電所の数	平成25年度 2
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			今後の改革改善案 地域住民を巻き込んだ活動において、まだまだ、住民主体の底辺が出来ていない。今後は今まで以上に町の取り組みを発信する。町のHPや広報誌等で紹介する。			課題とその解決策 高度な知識を要する面もあり、勉強・研修会は欠かせない。地域の施設として位置づける場合には地域住民の参画をどの様に図るかが課題。				
	全体総括	本事業は水力発電の施設設置というハード面とピコ水力に代表される住民の環境保全意識の向上を目的としたソフト面の2面性をもっている。しかしながら、重要なのはハード面の建設設置が終わった後のソフト面での活動であり、その為の事業費等はむしろ発電施設によって生み出されるものである。						コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下			

20-02-000003 <b>住宅用省エネルギー設備設置費補助金交付事業</b>				担当組織 総務課 環境政策グループ				事業費 <b>3,177,000円</b>			
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費				目 11環境政策費			
事業概要	手段と実績 町民が太陽光発電設備や高効率給湯設備を設置する場合、要綱に定められて補助金を交付する。申請受付 → 交付決定 実績報告 → 交付確定 補助金申請 → 口座振り込み 太陽光発電設備設置申請件数	対象			町民(世帯)			意図 太陽光発電設備の設置自家発電量高効率給湯設備の設置			
		太陽光発電設備設置申請件数	平成25年度 26	平成26年度 15	単位 件	町民(世帯数)	平成25年度 8,152	平成26年度 8,167	単位 戸	太陽光発電設備設置件数	平成25年度 25
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			今後の改革改善案 国及び県の動向を見ながら事業を改善する必要がある。ただし、環境力を宣言する町としてCO2の削減を推進する当該事業は継続するべき。また、ペレットストーブ設置についても補助を検討したい。			課題とその解決策				
	全体総括							コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下			

20 自然環境の保全

20-02-000004 街路灯等省エネルギー化促進事業費補助金交付事業				担当組織 総務課 環境政策グループ				事業費 1,329,640円													
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費				目 11環境政策費													
事業概要	手段と実績	街路灯等の改修費補助・谷川区 32箇所(32球)・小日向地区 10箇所(10球)・湯桧曽地区 48箇所(96球)			対象	行政区、街路灯組合等			意図	CO2の排出を削減する。											
		街路灯改修費補助実施件数	平成25年度 1	平成26年度 3		単位 件	対象行政区	平成25年度 0		平成26年度 3	単位 区	改修箇所数	平成25年度 66	平成26年度 90	単位 箇所						
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括	平成24年度より順調に改修が進んでいる。来年度、小日向区の改修が終了すれば事業は廃止する。			今後の改革改善案	平成24年度より順調に改修が進んでいる。来年度、小日向区の改修が終了すれば事業は廃止するが、LED灯は10年くらいの寿命があると言われている。3～4年の間に各団体が交換しているため、交換費用が集中し高額になる可能性があるため、10年後に何らかの要望が出てくるかもしれない。			課題とその解決策	町内の状況を見ながら、検討する以外にない。											

20-02-000005 ユネスコエコパーク調査事業				担当組織 まちづくり交流課 商工振興グループ				事業費 6,840,822円													
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費				目 7地域振興費													
事業概要	手段と実績	ユネスコエコパーク(MAB)事務局への研修。MAB事務局による現地視察。計画検討会等の開催。先進地視察研修。			対象	エコパーク事業			意図	エコパーク事業を推進するか否かを確定する											
		視察・研修等の開催	平成25年度 1	平成26年度 5		単位 回	対象行政区	平成25年度		平成26年度	単位	改修箇所数	平成25年度	平成26年度	単位						
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括	みなかみ水・環境力宣言の主旨とエコパークの理念は合致しており、また、まちづくりビジョンにおいても今後のまちづくりの核となる取組であり、積極的に推進し、早期の登録実現が望まれる。			今後の改革改善案	今後、具体的な申請、事業の推進にあたり事務量、事業費も増加する必要がある。			課題とその解決策	申請、事業推進にあたっては、膨大な事務量が必要であり、人的、予算的な増加が不可欠となる。											

20-02-000006 阿能川親水公園管理運営事業				担当組織 地域整備課 管理グループ				事業費 79,921円													
予算科目 会計 一般会計 款 8土木費				項 3河川費				目 1河川維持費													
事業概要	手段と実績	・業者の手配。・契約手続き。・委託料の支払。			対象	・阿能川親水公園(浄化槽)			意図	・親水公園(浄化槽)を適切に管理する。											
		業者委託施設管理回数	平成25年度 1	平成26年度 1		単位 回	親水公園箇所数	平成25年度 1		平成26年度 1	単位 箇所	適切に管理しなかったことによるトラブル回数	平成25年度 0	平成26年度 0	単位 回						
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括	・浄化槽の管理、修繕のみのため、委託に出して終了である。			今後の改革改善案	・公園(浄化槽)の管理として必要なことは全て行われている。			課題とその解決策	なし											

20 自然環境の保全

20-02-000007 須川川親水公園管理運営事業				担当組織 地域整備課 管理グループ				事業費 50,000円						
予算科目 会計 一般会計 款 8土木費				項 3河川費		目 1河川維持費								
事業概要	手段と実績	親水公園施設維持管理を須川活性化委員会へ委託し実施した		対象	須川川親水公園(遊神館前)			意図	須川川親水公園維持管理を地元の活性化委員会に委託することで適正な維持管理を行う。					
	親水公園維持管理業務委託件数	平成25年度	平成26年度		単位	須川川親水公園(遊神館前)の数	平成25年度		平成26年度	単位	管理委託契約を締結し適正に管理を行った数	平成25年度	平成26年度	単位
		1	1	件			1	1	箇所			1	1	箇所
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト				
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化				
全体総括		群馬県と町との協定による親水公園の管理を業者委託ではなく地元の活動団体に委託することで安価により委託できている。地元団体は委託料収入により地域活性化事業に取り組むことができている。今後も継続して地元の団体に委託して施設管理をしていただくことが妥当と現状維持の体制で事業を継続することが必要です。			今後の改革改善案			群馬県土木事務所と町との協定により活動団体に組みやすくなり今後も継続します。施策名の変更			課題とその解決策			
								なし			成果 向上 ○ × 維持 ○ × 低下 × ×			

20-02-000008 矢瀬親水公園管理運営事業				担当組織 地域整備課 都市計画グループ				事業費 17,390,944円						
予算科目 会計 一般会計 款 8土木費				項 4都市計画費		目 4公園費								
事業概要	手段と実績	水道光熱費・委託費・借地料の支払い業務 臨時職員による直営管理作業(草刈り作業・芝刈り作業)の手配準備など。		対象	矢瀬親水公園			意図	利用者が気持ちよく安全に施設を利用出来る状態の確保					
	管理費(需用費・委託費・借地料・賃金他)	平成25年度	平成26年度		単位	施設面積	平成25年度		平成26年度	単位	施設維持管理上の不具合・トラブル発生件数	平成25年度	平成26年度	単位
		14,758	17,390	千円			34,971	34,971	m <sup>2</sup>			9	7	件
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	○ 目的妥当性		× 有効性		× 効率性		○ 公平性		コスト				
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化				
全体総括		町管理の施設は多課にわたって各課毎に行っているため、効率が良くない。例えば、管財G等が町内一括の管理業務を実施することによって効率性が計れる。			今後の改革改善案			町管理の施設は多課にわたって各課毎に行っているため、効率が良くない。例えば、管財G等が町内一括の管理業務(NPOや臨時職員を活用)を実施することによって効率性が計れる。公園管理業務を統合する。			課題とその解決策			
								なし			成果 向上 ○ × 維持 ○ × 低下 × ×			

20-02-000009 太陽光発電施設設置事業				担当組織 総務課 環境政策グループ				事業費 26,814,000円						
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費		目 11環境政策費								
事業概要	手段と実績	太陽光発電施設の設置に係る業務・設置場所の検討・補助金交付、変更交付等の申請・業務、工事の発注及び現場監督等・現場調整等		対象	町内の福祉避難所町内の指定避難所			意図	太陽光発電施設の設置					
	補助金申請(交付、変更、実績)	平成25年度	平成26年度		単位	福祉避難所	平成25年度		平成26年度	単位	太陽光発電施設を設置した福祉避難所	平成25年度	平成26年度	単位
				3			8	箇所				0	箇所	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト				
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化				
全体総括		再生可能エネルギー等導入推進基金事業は期間限定			今後の改革改善案			課題とその解決策						

20 自然環境の保全

20-03-000001 <b>環境教育推進事業</b>				担当組織 観光課 自然観光グループ				事業費		996,609円											
予算科目				会計 一般会計		款 2総務費		項 1総務管理費		目 11環境政策費											
事業概要	手段と実績	谷川岳エコツーリズム赤谷の森自然散策			対象	町内の小学生とその家族みなかみ町民(県内外参加者)成人及び親子			意図	地元の自然資源を再認識してもらう											
		環境学習の開催回数	平成25年度	平成26年度		単位	参加者の人数	平成25年度		平成26年度	単位	平成25年度	平成26年度	単位							
			1	15	回		29	389	人												
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括	趣味やレクリエーションの多様化により、学校行事や個人で自然散策や野外で遊ぶ機会が減ってきているため、町民に地元の自然環境を再認識させ、環境への意識を高めることが重要である。			今後の改革改善案	赤谷プロジェクト・エコツーリズム協議会・ホテルを守る会・谷川ピコなどの関係団体と協議し環境学習のテーマや目的を調整し自然の必要性などを知って貰うための情報発信を行っていく。			課題とその解決策	まずは、役場の職員への環境教育が必要											

20-03-000002 <b>環境ポスターコンクール事業</b>				担当組織 観光課 自然観光グループ				事業費		50,765円											
予算科目				会計 一般会計		款 4衛生費		項 1保健衛生費		目 5環境衛生費											
事業概要	手段と実績	町内各小中学校の児童生徒を対象に、夏休みの作品としてポスターの募集し、68点の応募があった。応募のあった各学校の美術担当教諭により審査、観光センターに於いて、ポスターの表彰と共催で表彰状を伝達した。また、優秀作品は町の文化祭、役場ロビー、上毛高原駅で展示を行った。これと併せ県から依頼された、関東甲信越活動推進連絡協議会で実施する3R促進ポスターの募集に、19点応募し、古馬牧小2年生が「入選」で入賞した。			対象	町内小中学生			意図	環境美化、地球温暖化防止・循環型社会の意識の啓発と郷土愛を育むポスターを作成する中で、環境美化・地球温暖化防止・循環型社会等の環境問題を考え、また、作品を見た人達に環境問題の啓発をすることが出来た。											
		ポスター応募数	平成25年度	平成26年度		単位	町内小中学生	平成25年度		平成26年度	単位	ポスター応募数	平成25年度	平成26年度	単位						
			96	68	人		1,416	1,337	人		96	68	人								
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括	毎年継続することが大事と思われる。表彰式にホテルポスター表彰も併せ関係者を集めて行っているが、大勢の前で表彰できる場があればもっといいかと思われる。			今後の改革改善案	継続していくことが大切である。環境美化や地球温暖化防止・循環型社会等の環境問題に取り組んでいる個人や団体を表彰していくことも大切である。			課題とその解決策	特にない。											

20-03-000003 <b>ふるさと納税推進事業</b>				担当組織 総合政策課 企画グループ				事業費		599,596円											
予算科目				会計 一般会計		款 2総務費		項 1総務管理費		目 6企画費											
事業概要	手段と実績	町の公式ホームページで広報する。寄付者を町へ招待した。7/2・3 参加者5人			対象	町外の人			意図	みなかみ町へふるさと納税をしてもらう。											
		問い合わせ件数	平成25年度	平成26年度		単位	寄付者数	平成25年度		平成26年度	単位	寄付額	平成25年度	平成26年度	単位						
			6	16	人		6	16	人		5,025	4,932	千円								
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括	推進体制・返礼品など根本から見直す必要がある。平成27年度から地域振興の観点から、所管替えし、返礼品を提供するようにする。			今後の改革改善案	ふるさと納税制度は定着し、H26に話題性は高まっている。担当課を所管替えし、各種団体と連携し推進体制を強化する。寄付金を増やして基金を積み立てると共に、この基金を有効に活用する。			課題とその解決策	各種団体との連携強化。											